

## 趣 意 書

# 議員定数削減のための1万人署名運動を提唱します！！

〒270-0157 流山市平和台 4-1640-18

流山市議員定数を考える会

代 表 伊東 正明

F A X 0 4 - 7 1 5 5 - 4 6 8 0

メール info2@nagareyama-msg.org

私たちは来年4月の流山市市議会議員の改選に向けて、議員定数を4名削減し、24名とすることを求めます。

現在、流山市の議員定数は28名で、前回（平成19年4月）立候補者は33名でした。人口が流山市と同程度の浦安市の定数は21名で立候補者は37名でした。

私たちが流山市の議員定数削減を求める理由は2つあります。

### 1. 財政的観点から

今後10年間、市税収入の大幅増加は望めず、財政が破たんしかねません。市は正規職員を減らし、臨時職員でカバーして乗り切ろうとしています。こんな時「議員だけは例外」など許されるはずがありません。

### 2. 議会活性化のために

議員は少数精鋭でなければなりません。議会で一般質問をする議員は毎回20名ほどで、3月議会は14名。定員を削減し緊張感のある議会を望みます。

国政レベルでは衆参両議院の定数削減が具体的な議論となっています。地方議会でも多くの自治体が削減を実行または検討しています。

5月に市議選を実施した野田市は前回から4名削減。我孫子市は来年の市議選で4名削減、柏市も次期改選時から4名削減を決めています。柏市や松戸市は人口1万人あたり1人の議員数、流山市は6千人あたり1人と約2倍となっています。

私たちは、来年4月改選の流山市の議員定数を4名削減し、24名とすることを求めています。それには流山市議会において「議員定数条例」の改正が必要です。

来年4月の市議会議員の改選に間に合わせるためには、今年の9月議会または12月議会での条例の改正が必要です。

そこで、私たちは、流山市市議会議長に対し、できるかぎり多数の署名簿を添えて陳情書を提出したいと思います。

ご賛同いただける市民の方は、広くご家族やご友人にも呼びかけ、この運動にご協力をお願いします。ご署名は一人でも、二人でも結構ですから、FAXや郵便にてご返信ください。裏面の賛同者または、依頼者にお届けいただいてもOKです。

..... 裏面に署名簿があります .....